

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572608370		
法人名	有限会社 わかば会		
事業所名	グループホームきらら千畑		
所在地	秋田県仙北郡美郷町本堂城回字新谷尻214-7		
自己評価作成日	平成29年9月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 秋田県社会福祉士会		
所在地	秋田市旭北栄町1番5号		
訪問調査日	平成29年10月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな山と田園地帯に囲まれた場所にひっそりと、地域に馴染みながら存在するグループホームです。玄関を開けると広いホールとゆったり座ることができるソファを多数配置しており、天井も高く木の温もりを感じる癒しのある空間となっております。明るく優しい雰囲気の中で過ごすことができるようホーム内は、常に生活しやすい環境を整えております。また、季節を感じていただけるよう四季折々の行事を御家族や地域の方を招いて開催しております。理念にも謳っておりますが、馴染みのある地域社会に包まれながら、明るい笑顔ではつらつと自分らしく安心して暮らす事ができるように、地域の人々から力をお借りして、認知症でも尊厳をもち自立した生活の為の支援をするべ日々精進しております。認知症なんでも相談所やまちかど相談所としての相談窓口としても取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の中に溶け込むように、普通の一軒家のように存在するグループホームです。事業所内は天井も高く9名の入所者がゆったりと生活できる広々として空間が広がっています。外からの光も差し込み、柔らかい明るさになっています。装飾も必要以上に飾り付けずに落ち着いた印象の中で季節感が感じられるように配慮されています。共有スペースも居室も清掃が行き届いておりとても清潔感があります。地域の方々との交流がある他、認知症についての相談所としても取り組んでおります。利用者は地元の方々でそれぞれの地域との交流も継続しながら、それぞれの個性を活かした取り組みもされております。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、 代表者と 管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念・理念綱領を毎朝職員全員で唱和しております。利用者の皆様が安心して生活できるように理念の確認・共有をし、実践へ繋げております。	理念は事業所内に掲示している他、毎朝職員で唱和して、理念の共有を図りながら理念の実践につなげています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の代表の方々に運営推進会議に参加していただき当ホームの活動報告を通して理解していただけるよう努めております。又、季節の食べ物やお花を頂戴したり行事への参加をさせていただいております。	地域の方々から野菜や植物をいただく等の交流が日常的に図られています。また、地域の行事へも積極的に参加する等して地域との付き合いを大切にしています。	
3		○事業所の力を活かした 地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に 伝え、地域貢献している	認知症なんでも相談所としての役割をもち、認知症や介護が必要な家族がいる地域の方や困っている方々の相談や質問にお答えしながら地域貢献に取り組んでおります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム内にて運営推進会議を実施し、サービスの内容や取り組みを報告し、地域の方や役場、利用者家族等の評価をしていただきながらサービス向上に活かしております。	運営推進会議には、利用者・家族・地域の方や行政の方が参加されております。2か月に1度開催され、事業所の取り組みについて周知を図る等しながら、参加者からの意見を伺い運営に反映されております。	運営推進会議において、その時々にあつた議論をするにあたり、多様な職種・機関の参加を促して、事業に反映していけることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月「きらら通信」にてホームでの活動や利用者状況などを報告し、協力関係を築く事ができるよう取り組んでおります。	運営推進会議にて行政の方と情報交換をする等して連携を図っています。また、行政からの認知症カフェの実施にあたっては相談に乗る等協力的な関わりがされています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルの見直しと委員会活動にて職員全員が身体拘束について日頃より話し合いをし、利用者の方々が自由に活動ができるよう努めております。又、無施錠による事故等ないよう見守りを重視しながらケアに取り組んでおります。	身体拘束は行っておりません。事業所の外へ外出したい方がいれば、一緒に散歩に出かけたりドライブへお連れする等して拘束しないように配慮されています。夜間は19時～6時まで施錠する以外は玄関を開放しています。また、マニュアルを見直す等拘束のない支援を心がけています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は施設内外の研修参加や委員会活動にて虐待について日頃より学習をし、虐待が見過ごされることがないように日々話し合いや情報共有をしております。又、自らの身体的・精神状態が虐待へと繋がる事がないよう自己覚知に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が制度について学び理解する事ができるよう、管理者、介護支援専門員は、自らが制度について積極的に学習し知識を深めると共に、日頃より身元引受人や民生委員、生活相談員と職員全員が関わりをもちながら、円滑な活用ができるよう努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居が決定した際は、重要事項や契約内容の説明を十分おこない、ご家族等に理解、納得していただき署名・捺印を頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やその家族、その他の方等、どなたでも事業所への意見や提案が気兼ねなくできるような意見箱の設置をしております。ご家族には、利用者の状態や変化について把握できるよう連絡を密にとりながらアンケート等にて要望をお聞きしながら運営や日頃のケアに反映させております。	家族等が面会にいらっしゃった際には随時意見や要望を確認しています。また、アンケートを用いて要望等を伺うように取り組んでいる他、利用者からも個別に話を伺うように取り組んでいます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、月1回職員の本人評価を実施し、適宜個別面談等もおこないながら、運営や業務内容、その他についての要望や提案を聞き反映しております。	職員へ働きやすい職場にするためのアンケートを取る等する他、個別にも随時相談しやすい体制をとって、意見や要望を聞き入れるよう取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則の労働時間を重視し、各仕事の役割分担を決め責任感と向上心をもって働けるよう職場環境・条件の整備に努めております。又、仕事や身体的問題等の個別相談も適宜実施しながら皆さんが安心して楽しく仕事ができるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、 代表者自身 や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ事業所内外の研修参加を実施し職員の技術向上・育成に取り組んでおります。代表者や管理者、経験年数の長い職員が率先して指導や助言を行い、介護初心者や年数が浅い方等の実践トレーニングをしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、 代表者自身 や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者、管理者、職員が同業者との交流する機会をつくり、その情報をもとにサービスの質の向上に向けた取り組みを行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の現在の状況・要望を聞き取りや行動等にて汲み取り、本人が心から安心していただけるよう身体面・精神面を考慮しながら関係づくりに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の生活歴や現在の状態について、家族から情報提供していただくと共に、利用者に対しての思いや入所するにあたっての不安な事等を話し合いながら、良好な関係づくりができるよう努めております。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は、認知症になっても、私達に教えてくれる存在であり、今までいろいろな経験をした人生の先輩として敬う気持ちを忘れずに、共に人生を生き、お互い支え合う関係を築いております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族が今まで通り良好な関係、絆を大切にできる関係を保てるよう、利用者について情報交換等の話し合いをおこない、考える機会を設ける事により、共に利用者を支えている一員ということを理解していただけるよう努めております。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御親戚や友人、家族の面会を大切にし、以前生活していた場所等へドライブへ出かけたり、食事や自宅への帰宅等、馴染みの場所や人との関係が途切れないよう支援しております。	家族の協力によって、自宅等への一時帰省を図る等されている他、日々のドライブ外出の際に、利用者の自宅周辺を回る等の工夫をされています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ミーティングやカンファレンス等にて情報共有をおこない、利用者同士の相性や個人の個性についても把握しながら支援しております。又、レクリエーション活動を通して、利用者同士の関わりや楽しみが増え、お互いに声を掛け合え、支え合えるように支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者退所後もご家族の相談や状況をお聞きする等の連絡をとりながら関係を継続しております。又、居宅介護支援事業所や、本人を取り巻く関係機関についても適宜、連絡や調整等おこなっております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護支援専門員による利用者への聞き取りや、アセスメント、モニタリング等により希望や意向の把握しております。困難な場合等は、普段の利用者の行動や表情から思いを汲み取り、本人本位のケアができるようカンファレンス等にて職員同士情報交換しております。	利用者個人が何をすれば喜ぶのかを検討しながら、その人らしい生活を支援するように心がけています。意向がうまく確認できない方については、生活歴等からその人が望む事を検討しています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、 生きがい 、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、本人よりこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報の聞き取りを行っております。又、入所前の担当ケアマネや主治医、関係者等より、客観的な聞き取りもおこなっております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の顔色や食欲、バイタルに注意し心身状態の把握しております。今までの生活歴からその方の得意な事や趣味等を活かしたケアしております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い一人一人の問題や課題を出し合い、その人らしい生活の仕方やなじみのある生活ができるよう介護計画に組み込みながら作成しております。又、ご家族にも意向や意見をお聞きしながら検討しております。	3カ月に1回カンファレンスを行い計画の見直しを行っております。利用者からは日々の関わりの中で意向を確認し、家族からは面会時や電話等で意向を伺うようにしています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には利用者の日々の心身状態や介護計画の実施状況も記録しております。A.M. PMIにミーティングをおこないその日の状態報告等しながら情報共有をし、実践や介護計画見直しに活かしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人のお隣や馴染みのある方に自宅の鍵を預かっていただき、いつでも本人が自宅の様子を見に行ったり、必要な物を取りに行くことができるよう地域の方にも協力していただきながら、安心して豊かな暮らしができるよう支援しております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当事業所の嘱託医はありますが、ご家族、ご本人の希望の医師の受診をおこなっております。主治医とも定期的に連絡、報告をし、適宜必要な場合は紹介状等を書いていただくなどしながら適切な医療が受けられるよう支援しております。	ご利用者、ご家族が希望する医療機関への受診を継続しています。受診の対応は職員が行い、医療機関との連携も図っています。必要に応じてご家族へも同行いただき、医療機関からの説明を共有するよう努めています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のケアの中で状態観察を行い、身体面・精神面の問題点や心配事等を担当の医師や看護師に連絡、相談しながら適切な受診、看護が受けられるよう支援しております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に訪問をし、担当医師や看護師との情報交換をおこない、利用者やそのご家族も安心して治療が受けられるよう努めております。専門職の方々にも協力していただき早期退院へ繋がるよう努めております。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まずご家族への状態報告を行い、利用者のご家族の意向の確認をし、事業所にてできる可能なケアの説明を十分におこない納得・安心していただけるよう努めております。現在、終末期ケアは行っておりませんが、施設内外の研修、勉強会にて職員全員が学習し知識を深め、終末期ケアや重度の利用者の方への対応について検討を重ねております。	看護師がいない事等の体制的不安から、現状では積極的に看取り等を検討するに至っていない。しかし、事業所で最期まで過ごさせてほしいという要望もあることから、今後事業所がどこまで対応していくべきか検討を重ねている。	事業所のみでの検討には限界があるため、会社としての検討や嘱託医との話し合い等を行いながら、前進するような議論を重ねていただきたい。また、運営推進会議を活用し多様な関係者と話し合う等していくことを期待したい。
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の講習を受講しており、誤嚥や骨折等の初期対応は内部研修にて行い実践力強化に努めております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルの見直し、確認を行い避難方法や場所等を全職員が把握しております。又、年2回消防署立ち会いの下避難訓練を行っております。運営推進会議を通し、地域代表者の方、近隣の方々にも協力していただけるようお願いしております。	食材等の備蓄は1週間分ストックされている。避難訓練は年2回実施し、地域へも参加を促す等し運営推進会議でも報告している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常にご本人の人格を尊重し、お伺いをたてる・お願いするという気持ちをもって接させていただいております。又、自尊心や誇り、プライバシーに配慮した支援をしております。	ご利用者の人格を尊重した言葉使いがされています。また、利用者のプライバシーへも配慮されています。特に身だしなみには配慮されていてその人らしい服装や髪形をされています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずはお伺いし、無理せず本人の希望に沿って支援させていただいております。思いをうまく話せない、表現できない、またはどうしても良いか迷っている等の場合も、自室やゆっくりできる場所にて本人が納得、安心できるよう声掛けや誘導等の働きかけをしております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室で休みたい方、外に行きたい方、ホールで過ごしたい方等、皆様のペースや希望にそって支援しております。室内外や居る場所によってレクリエーションの内容を本人に合わせながら支援しております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段より、身だしなみや清潔感に配慮し支援させていただいております。行事や外出、記念撮影の際は特別にお化粧や、いつもと違う服を着る等のお手伝いをさせていただいております。利用者様がいつも綺麗で穏やかに安心して生活できるよう支援しております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に、切って頂いたり、したごしらえして頂いた野菜等を使い調理を行っております。使い終わった食器等も利用者様に洗っていただいたりしながら、食事の準備や片付けを一緒に楽しみながら作業しております。	利用者は調理にも積極的に参加されており、残存機能を活用した取り組みがされています。温かい時期には外に出かけて食事をする等食事を楽めるような工夫がされています。コーヒーを挽いて飲まれる等楽しみを見いだせる工夫がされています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事量や水分量の記録をし状態把握に努めております。ご本人の好みやきざみ等の食事形態に配慮しながら、家庭の味や旬の味も楽しんでいただけるよう支援しております。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全利用者に対し口腔ケアの声掛け、誘導を行っております。お一人一人の残存機能に合わせてながら口腔内の清潔保持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	全利用者の排泄パターンを把握し、失禁後の不快な感覚を軽減できるようおやつ、食事前後の誘導や声掛け等の支援をしております。その他の時間帯も適宜声掛け誘導をしております。	利用者1人1人の排泄パターンや仕草を把握して排泄に自立に向けた取り組みがされています。排泄用品に頼ることなく出来るだけトイレでの排泄を支援しています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らず便秘を予防し、自然な排便ができるよう毎日ヨーグルトとオリゴ糖を摂取していただいております。又、家事援助や室内外の散歩、体操等に参加していただき無理なく楽しみながら腸の働きを促す事が出来るよう支援しております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	夜間からの状態やバイタルの確認をし健康状態に充分注意し入浴しております。入浴日は決めておりますが、本人の希望や汚れ等ある時は、適宜ご本人と相談しながらいつでも入浴していただいております。	入浴は日中いつでもできるが、午後の活動への参加等から午前の中に入浴希望者がほとんどで、午前中に入浴されている。入浴したくない方へも時間をずらして声がけする等して安心して入浴できるよう配慮されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後すぐ自室へ行き休まれる方は少なく、皆さんホールや居室でTV等見ながら就寝までゆっくりと自由に過ごされております。就寝時間もご本人の希望に合わせて消灯しております。夜間巡回をこまめに行い安全・安心に休めるよう支援しております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全利用者の薬の把握に努めております。目的や副作用を、受診後ミーティング等にて確認し合うようにしております。いつもと違う症状があったり、薬の作用について分からない事があれば主治医や薬剤師へ適宜相談しております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全利用者の今までの生活歴や残存機能を把握し得意な事や好きな事を継続できるよう支援しております。又、その支援が利用者のやりがいや生活のハリ、自信へ繋がるよう努めております。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人が行きたい場所へ行けるよう、ご家族等とも話を合いをし実現できるよう支援しております。色々な所へドライブへ行き、その土地のお店へ寄り外食をしたりして楽しんでいただいております。	ほぼ毎日外出しています。地域の外出の他行事として遠出したり、外で花見をする等して楽しんでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理ができる方はご自分で管理していただきながら、嗜好品の購入等しております。お金を持つことの安心感や意志の決定を大切に支援しております。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人自ら家族や大切な人に電話や手紙のやり取りができるよう支援しております。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、季節の花やインテリアを配置し、ホーム内の室温・湿度に気をつけ居心地よく過ごせるよう配慮しております。	共用スペースはソファが設置されていたり、テーブル席があったり過ごせる場所が選べるようになっていますが、その他外から見えないようなスペースもあり、ご家族等と他の利用者の目を気にすることなく過ごせるような配慮もされています。落ち着いた雰囲気清潔感があります。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にはゆったりと座ることができるソファがいくつかあり、TVをみながら近くに座る他利用者同士楽しく談笑されております。距離も近く、耳が遠い方でもよく聞こえ、円滑なコミュニケーションがとれています。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、新しく購入するよりもご自宅で使用していた布団や湯飲み、茶碗等、普段使用していた馴染みのある物を持ってきていただきライフスタイルや好みに合わせ安心して過ごせるよう努めております。	居室にはベット、チェスト、ソファが準備されています。その他の家具等はご自身が使い慣れた物等を自由に持ち込めるようになっており、写真を飾る等してその人らしいプライベート空間が作られています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はゆったりとしたスペースが確保されており、危険な物や障害物はなく安心して過ごす事ができます。又、車いすにて自走も可能で自立した生活に繋がれるよう工夫しております。		